

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【2】新技術の活用】

施工環境改善提案による新技術の活用促進

事業名：施工環境改善提案

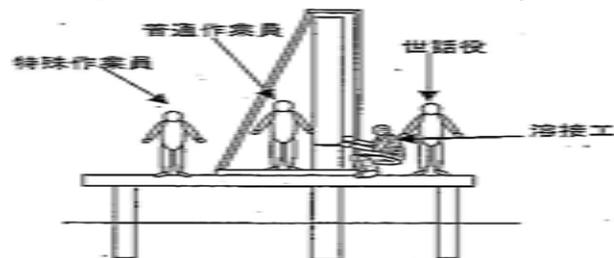
概要：(従来) 各種基準類に適合しないため、優良な新技術や創意工夫事例が普及しない。
(新) 優良な新技術や創意工夫事例が使用しやすい環境づくりを目指して、基準類の緩和を働きかける。

効果

施工現場で採用されている優良な新技術や創意工夫事例について、これらの普及阻害要因となっている各種基準類を調査し、緩和を働きかけることで、新技術等が普及しやすい環境づくりを目指す。

「鋼管杭の接合方法」の例

【従来】鋼管杭を溶接で接合。



溶接工が必要。

溶接作業により時間待ちが発生。

雨天時の作業が困難。

共通仕様書で溶接による接合が規定されており、採用には監督職員の了解が必要。

【新】鋼管杭をネジ部材で締付けて接合。



溶接工が不要で、溶接待ち時間がない。

作業が天候に左右されない。

共通仕様書が緩和されたため、施工者の判断で自由に採用が可能。